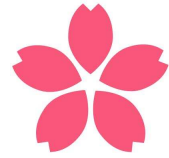


メンタルヘルス通信



ココロリフレッシュルーム Vol:97 2013・5・1

○ 地域密着型特別養護老人ホーム 財田の杜 オープン！

今年の春は寒いように感じています。春の安定した陽気が待ち遠しい今日この頃ですが、時間は着実に進み、5月を迎えることとなりました。北海道にも桜の季節がやってきます。今年は、気温が低い日が続いたこともあり、例年より少し遅れての開花となるようです。そんな今日5月1日は、地域密着型特別養護老人ホーム財田の杜（たからだの杜）がいよいよオープンとなります。初めて“財田”という漢字を目にした時、一体何と読むのだろうと疑問に思いませんでしたか？すらっと「たからだ」と読めた人は少ないかもしれませんね。財田の杜は、洞爺湖町、洞爺湖畔の自然豊かな場所にあります。オープンに先立ち4月8日から、財田の杜の研修会場において、今年度の新入職員の研修が行われました。その際、ピカピカの施設内を見学させてもらうことができました。居室やリビングからも洞爺湖や中島を眺めることができるので、四季の変化をより近くに感じることができると思います。窓を開けると川のせせらぎが聴こえてくるくらいに、静かな場所なのですが、近くにはキャンプ場があるなど、シーズンにはにぎわいをみせることもあります。洞爺湖町財田は、私たち法人職員にとっては、以前から法人研修やスタッフ親交会などで、行く機会の多い場所ですから、馴染みのある土地になっているのではないのでしょうか。



当法人に新しく誕生した“地域密着型特養 財田の杜”は、①地域密着型、②ユニット型、という大きくふたつの特徴がある施設になります。

①地域密着型

慣れ親しんだ地域にある施設に入居することで、入居後も今まで築いてきた地域との関係を継続しながら生活をするスタイル。

②ユニット型

施設の中に10名程度の少人数の生活単位(ユニット)を形成し、顔なじみのスタッフや入居者と一緒に、少人数の生活単位ごとで生活するスタイル。

* 財田の杜は、全室個室で、29室あります。1階に1ユニット、2階は2ユニットです。

新規オープンということで、財田の杜で働く職員たちは、これまでの間にチームワークを高めてきました。新しいことに挑戦する時は、誰だって不安・緊張・期待という感情がぐちゃぐちゃに混ざり合うものです。心細く思う時や、くじけそうな時は、仲間と一緒に働いているということ思い出して下さい。どんなに大変に感じることで、きっとチームワークで乗り越えて行くことができると思います。これからはドライブも楽しめる季節です。洞爺湖をぐるっとドライブしながら、財田の杜を探してみるのも面白いかもしれませんね！

§ : 49 高齢者虐待

TV や新聞などで虐待の報道を知る度に、「どうしてだろう…」ともやもやした気持ちになります。みなさんはどんな気持ちになりますか？私たちと同じように、介護を自分の仕事としている“プロによる虐待”も、“家族による虐待”も、なくなっはけません。虐待はもちろんしてはならない行為です。それは大前提としてあるのですが、私は虐待をしてしまう人の気持ちも気になります。こうしている今も、どこかで誰にも助けを求めることができずに、虐待を受けている人も、虐待をしている人も、苦しんでいるのではないかと心配に思うことがあります。今回は、高齢者虐待について考えていきたいと思います。

○ 高齢者虐待

2006年に施行された「高齢者虐待防止法」で高齢者虐待は5つに分類されています。

1) 身体的虐待

高齢者の身体に外傷が生じる、または生じるおそれのある暴行を加えること



2) ネグレクト(養護放棄・放置)

高齢者を衰弱させるような著しい減食または長時間の放置、その他の高齢者を擁護すべき職務上の義務を怠ること

3) 心理的虐待

高齢者に対する著しい暴言または著しく拒絶的な対応、その他の高齢者に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと

4) 性的虐待

高齢者にわいせつな行為をすることまたは高齢者をしてわいせつな行為をさせること

5) 経済的虐待

高齢者の財産を不当に処分することその他の高齢者から不当に財産上の利益を得ること

虐待を受けている人(被虐待者)は、介護を必要としている高齢者が圧倒的に多いです。また、被虐待者の7割程度が“認知症を抱える高齢者”だそうです。虐待の中でも、身体的虐待や心理的虐待が多く、家庭内ではネグレクトや経済的虐待も少なくないそうです。毎年、虐待により命を落としている人がいます。これは私たちにとっても人ごとではなく、自分たちがしていなければ良いという問題でもありません。高齢者福祉の現場で働く者として真剣に考えていかななくてはならない大切なことなのだと思います。



GWで始まる5月は、5日が“こどもの日”、12日が“母の日”とイベントが続きますね。まだまだ気温が十分に上がらず、寒い春という感じですが、5月5日は立夏ですので、暦の上ではもう夏がやって来ますよ。気温は十分ではありませんが、冬と比べると陽が長くなってきているので、晴れた日は夕方でも明るく、時計を見て何だか得した気分になります。日照時間が少～し伸びるだけでも、こころとからだに太陽からのエネルギーをう～んと補給できるような気がします。もしかしたら人間にも“ソーラーパネル”がついているのかも！

* 各事業所ではお花見レクなど企画中でしょうか？ ココロ リフレッシュルーム 0142-76-4780